

令和3年度こんにやく原料需給計画

(単位: 精粉20kg/袋)

項目 年度(R3.11~R4.10)	需要量 (消費量)	供給量					期末在荷量
		期初在荷量	国内生産量		輸入量	供給量合計	
			生産量	春切り量			
計画値計算式	a: 注2①参照	b: 前年期末	c: 実績	d	e: 注2⑤⑦参照	f=b+c+d+e	g=f-a
原料(国内・輸入) 数量見込	233,600	266,800	244,100	2,000	20,800	533,800	300,100
(前年度実績)	235,700	251,600	241,700	3,000	6,200	502,500	266,800
製品 輸入数量見込	18,900				18,900	18,900	
(前年度実績)	17,900				17,900	17,900	
合計	252,500	266,800	244,100	2,000	39,700	552,700	300,100
(前年度実績)	253,600	251,600	241,700	3,000	24,200	520,400	266,800
前年比(%)	99.6%	106.1%	101.0%	66.7%	164.3%	106.2%	112.5%

注1)ラウンドしているため加減があわないことがある。

注2)算出方法は以下のとおり。なお、算出方法は各年度に必要な見直しを行い21年度まで遡って再計算しているため過去の発表数値とは連続しない。

①合計需要量は平成21~令和2年度の実績を基に回帰分析によりトレンドでR3年度を252,500袋推計した。
原料需要量は合計需要量から製品需要量(=製品輸入量)を引いて233,600袋とした。

②期初在荷量は、令和2年度期末在荷量266,800袋とした。VII-3-(2))

③生産量は、令和3年産(54,200トン)から算出(54,200×1,000×歩留(9.009%)÷20kg)し、244,100袋と見込んだ。

④春切り量は、2,000袋と見込んだ。

⑤原料輸入量は、令和3年11月から翌1月における3ヶ月間の輸入実績の前年同期比増減率(+234.8%)を前年度1年間の原料輸入量に乗じて20,800袋とした。

⑥製品輸入数量は原料輸入量と同様に、令和3年11月から翌1月における3ヶ月間の輸入実績の前年同期比増減率(+5.3%)を前年度1年間の製品輸入量に乗じて18,900袋とした。

⑦期末在荷量は、原料供給量合計(533,800袋)から原料需要量(233,600袋)を差し引いた、300,100袋とした。